

会 議 録

1. 会議の名称 第1回熊取町廃棄物減量等推進審議会
2. 開催日時 令和7年7月7日（月）午後1時30分から
3. 開催場所 熊取町商工会館3階会議室
4. 議題
案件（1）役員選出について
案件（2）ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について
案件（3）「ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について」にかかる答申（案）について
案件（4）その他
5. 公開・非公開の別 全部公開
6. 傍聴者数 0人
7. 審議等の概要
案件（1）役員選出について
・「役員選出について」事務局より説明を行いました。
案件（2）ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について
・「ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について」事務局より説明を行い、質疑応答がありました。
案件（3）「ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について」にかかる答申（案）について
・「ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について」にかかる答申（案）について事務局より説明を行い、質疑応答がありました。
案件（4）その他

【質疑応答】

議長

皆さんの意見・質疑をお受けしたいと思います。ご意見、ご質問はございませんか。

委員

税金でやっている部分の事業なので町の方で頑張っていたきたいというこ

とと、サイズの追加については、希望があるため、申し上げることはないが、それに伴って現状の20リットルと45リットルの値段が上がるのが納得できない。

差額シールについて、現状45リットル20円だが新サイズ導入後は、差額シールを貼らずにそのまま出したら持って行ってくれなくなる。

これは少し住民の方にとって厳しいのではないか。

ごみ処理広域化は、令和14年予定なので、この物価高で大変な時期なので、値上げはもう少し時期を遅らせても良いのではないか。

議長

はい。ありがとうございます。

多分多くの皆様の気持ちを具体化していただいた部分もあるかと思います。

その他に何か意見ございますか。

委員

袋の種類を増やすことによって値段が変わるところについては、負担に関しては、一定の理解ができるが、導入に向けての背景・趣旨のところでごみを減らす意識というところと高騰するごみ処理経費の削減というところで、どのように減らせばどれだけごみ処理の削減になるっていうのが、わからないのでどうなのかと思う。

あと、ごみ袋を小さくすることによって、ごみ袋の素材であるプラスチックごみが減るとあるが、以前ごみ袋に関して議員が説明していたように、バイオマスのごみ袋にすることによって温室効果ガスの削減に繋がるのでそういうこともやっていかないといけないんじゃないか。

議長

はい。貴重なご意見ありがとうございます。

今回の大きな目的の1つはごみを減らしたいということですね。

具体的な理由はわからないが住民の方がごみ量を減らしてくれているのだが、ごみ処理経費は年々増加している。

他何か見解お願いします。

委員

ごみゼロ推進員もしているが、以前、ゴミステーションのかごを各ステーションに設置しました。

その中で基本は20リットルを推進しています。

おおよそ45リットルで8袋から10袋入るという設定のかごを買ったが、20リットルになると、20個は入ります。

その中で、10リットルがあればいいという声をよく聞きます。

それは特に夏に多いです。

1週間に2回ごみを出せなくて1回の量でまとめて出すという方もいます。

20リットルでさえ、1週間に1回で十分という方もいます。

必要なごみだけ出してもらって、残りは紙など分別できるものは分別していただけたら、これが本当の意味の減量化になるのではないのでしょうか。

基本は、20リットルを現行の値段でそのまま据え置いて欲しいというのが一

番の希望だが、そうなると10リットルが、10円ではいけないと思う。高齢者や体の不自由な方のことを考えると、大きなごみ袋は放りこむのは使い勝手はいいが、運ぶのは大変です。

いつから値上げを始めたいのか、今の現行のごみ袋を現行のままで、いつまで続けられるのか、今の袋にシールを貼るとか、今のオレンジの袋の色が変わるってということがね、私も高齢者だけでも理解できるのかなと思います。

議長

ありがとうございます。

自治体の取り組みにもご理解いただきました。

例えば差額シールが面倒くさければ、熊取町に買い取っていただけたら。

事務局

大変申し訳ないですが、差額シールに関して、今考えておりますのはおっしゃっていただいたように現行使っている袋に差額のシールを貼って、新たな手数料の金額負担をして出していることが見てわかるようにしていただいたうえでごみを収集させていただく形になります。

おっしゃるようにシールが無いと収集できずに、残ってしまう可能性は、もちろんあります。

委員

告知の方法次第ではないでしょうか。

事務局

そうですね。

委員

この袋が変わりますとはっきり伝えるという告知が必要だと思います。

何回も何回も広報の1ページ目に掲載して、今度からこの袋で出すのはいつまでなんですよと刷り込んで、やっとオレンジの袋がお金買って使うものなんだというのが認識されてきました。

議長

ありがとうございます。先程、藤原町長からの諮問書には時期が書いていないです。

まだ検討の余地があるのかもしれないです。

熊取町として、環境課としてこんな削減方法があるよということを広報の1ページ目に何回か掲載していき町民の方々の末端にまで意識が伝わるような姿勢を熊取町としていただきたいです。

委員

広報での掲載等はしたら良いと思うが、先を考えた時、こうなりましたと区長はそれを伝えないといけないので大変です。

議長

その他何か意見ございますでしょうか。

委員

まず住民の方にとってわかりやすい周知方法、それと収集の段階で、差額シールを貼るといのは、収集業者にとってもチェックをしないとイケない。

それとシールを貼っていなかったら、持って行ってくれないというような自治会でのトラブルは後でどう対応してくれるのかという不安はあります。

議長

ありがとうございます。

差額シールの運用というの、難しいところかなとは思っています。

事務局

まず差額シールについてなのですが、ごみ袋を置いた時にごみ袋の上部分の見えるようなところにできるだけ貼っていただけるように周知させていただく予定です。

今考えているのはごみ袋の色を新しく違う色にしようかなと考えています。

なぜかというと同じ色の袋のまま使っていくこともできますが、手数料が変わる前に買われたものなのか。後に、買われたものなのか。収集する段階で料金は足りているのかというのが、わかりづらくなります。まとめ買いできる方はいいんですけど、逆にまとめ買いできない方も中にはいらっしやると思うんです。

そういった意味では不公平感が少し出るのかなと感じます。

差額シールにつきましては、一定期間周知期間を設けさせていただきまして、今のところ広報とかでも毎月ぐらい、なんらかのシリーズ的な感じで住民の方にごみの減量が必要なこと、今後どういう風にやっていくのかなど、細かくその都度周知させていただきます。

ごみ袋を置いていただける販売店のごみ袋を並べている陳列の近くや店舗の入口にもポスターなどで、住民の方の目につきやすいような形でしていきたいです。

例えば各地域にあります広報掲示板や駅の掲示板、公共施設などどこかへ行く度に目につくような形で一定期間周知期間を設けて住民の方にはわかりやすい形で周知させていただこうかと思っております。

時期については、条例改正の手続きや、ごみ袋の作成業者、販売業者に話をしたり、実際にごみ袋の作成に関して期間も必要ですし、在庫がある一定数減ってきたタイミングで新たな袋を導入できるような時期を考えておりますので、今年度中は難しいと思いますが、来年度以降在庫の部分も含めて、適正な時期に導入させていただきたいと思っております。

導入することが決まった段階ですぐに住民の方に、現行の袋を買い占めることのないように、まずは一報を入れさせてもらい、その上で何度も丁寧に啓発する機会を設けさせていただきたいというふうに思っております。

議長

ありがとうございます。

周知の方法は考えていかないといけないですが、その前にまず値上げの可否について考えなければいけないと思います。

物価高の折に値上げは許されるのか。

その事情については事務局から説明いただき、熊取町の財政も厳しいというお話もいただきました。

少なくとも南海トラフが起こった時に保障しないといけないが使えるお金がないという状況は厳しいのかなど。

だからといって増税という形はできないので少なくともこういう手数料などで住民の皆様にご負担いただくということ、いわゆる1リットル1円のごみ袋にしたいというところについて、今の熊取町の財政を考えるといたしかたないと考えるのか、いや絶対にNGだというご意見が出てくるのかということについて何かないですか。

委員

令和14年の広域化ということで、田尻町、泉佐野市の水準に併せないといけないというのは公平感からすると明確にそうであるので、値上げははずれしないといけないと私個人的に避けられないと。

論文をみると10リットルとか20リットルの小さいサイズのごみ袋だと、それに収めようと努力してごみの減量化が進むというデータがあるらしいです。

もし、値上げを先送りした場合に、先送りしても結局は税金が投入されるので住民の方の負担は変わらないと思うのです。

令和5年の実績で1人あたりのごみ必要経費を人口で割ると令和5年が1万1460円。平成21年が1人あたり9,400円。2,000円ぐらい上がっているんですね。

物価高騰がなくても9400円の1人あたりの負担が発生してる、もともとごみ処理事業というのは、赤字事業なんだっていうことを、きちっと伝えなきゃいけないなど。

値上げをする合理的理由がなくなってしまった時にこれでは説明できないので、税金で処理されているんだと、排出者の責任で、処理してもらって受益者の負担でやるべきだという原理原則をしっかり掲げた上で、なおかつ、広域化するので、田尻町、泉佐野市と金額をあわせないといけないし、なおかつ近年物価高騰をして、ますます財政が大変ですという説明をした方が住民の方の納得感は上がるのではないかという気がします。

排出者責任の原理原則としていかないといけないのかなという気がします。

議長

ありがとうございます。

プラスチック以外の素材で、作るというのは、野村先生、ゼロカーボンという観点から何かありますでしょうか。

委員

焼却されるという前提であればバイオマス素材を使った方が脱炭素には間違

いなく繋がると思います。

議長

一番のポイントはコストだと思うのですが。

委員

かなり上がります。

ちょっと視点を変えて、廃棄物の減量、減らすっていう視点ともう一つ対になっているのが資源化する量を増やすということだと思うのです。

この議論と一緒に資源化の方でインセンティブした方が前に進みやすいのではないかなと思います。

議長

昔でしたら、買い取っていただけてたかと。

委員

個人でも回収業者によるが、月に1回この日に出すと自分の家に来てくれます。

回収業者さんも新聞とかだけじゃなくて再生できる家電とかもあったりします。

そういうのが利用されています。

熊取町に近い市町村の人が、熊取町の袋が安いからオレンジの袋に入れて熊取町のごみ置き場に置きに行くという話を聞く。

熊取町は近隣よりも袋が安いから、そういうことが起こるのでしたらやっぱり値段は揃えないといけないのかなとも思います。

議長

ありがとうございます。

その他、ご意見ありますか。

委員

貝塚市の方向性というのはどういう風になっているのでしょうか。

教えてください。

事務局

貝塚市と熊取町だけが少し安い値段という状況で、熊取町は今値上げを検討していますが貝塚市はどうですかと令和5年度に聞いた時は、まだしばらく考えていませんとその時はおっしゃってました。

委員

45リットルに雑にいっぱい入れるのと、20リットルにして小さくして入れても、ごみの量ってそう変わらないです。

袋が変わるだけで減量化にはなっていない。

委員

でも分別はするでしょ。

委員

分別はね。

委員

プラスチックも出したりね。

委員

そういう風に思ったんでちょっと。

事務局

確かにぎゅっと圧縮するから、かさが減るということにしかならないということもありますけれども、資源ごみとして分けようとかごみのカサを小さくすることによって収集車で運ぶ回数が、いくらか減らせれば、燃料費も減り人手も減りますし小さいサイズのごみ袋を使うことはごみの減量に影響するのかなと思っております。

あとは例えば生ごみは、そのまま出すのではなく、一定乾燥させるとか、もともと食ロスが出ないようにある分を使い切るとか、あとは大容量で入っている個包装してる袋が少ないものを買うようにすればごみを持ちこまないで済む。

そういう工夫も、ごみを出す前の最初の段階で、必要なことであり、ごみ袋の金額が上がると少しでもごみを減らそうということとなり、住民の方の意識に働きかけができるのかなというのが1つございます。

平成21年に有料化させていただきまして、その前年の平成20年は可燃ごみの総量で言いますと、8,484トン、それが21年には1,478トン減らすことができています。

これは有料化することによって、少しでもごみを減らそうという意識が皆さんに働いてそれだけの量を減らすことができたと思うのです。

少しでも小さい袋、金額を抑えてもらうようにすれば、実際ごみの量全体も減りますし、処理の経費も減りますし、今少しご負担を感じられるかもしれませんが、できるだけ小さい袋をご使用いただけることで、負担を減らしたいという風に思います。

年間で言いますと例えば45リットルを30リットルに減らしていただきますと、1,050円増額で済むのですが、1月で計算すると88円であり、その分を皆さんに減らしていただきますとごみの排出量を抑えることができます。

そういう効果も含めて、このタイミングで手数料の値上げを入れさせていただきたい。

事務局

補足なのですけれども、先ほどバイオマス関係のことがありましたけれども、費用が1.2倍ぐらいになるのかな。見積を取っています。

財政状況が非常に硬直化している中で、立て直しをまずはやっていきたいで

す。受益者負担分が驚くほど足りておりません。

また、我々の方でしっかりと説明責任を果たしていくのですけれども、その足りない部分が税金から出ていることをご理解いただいて、熊取町のまちが安定して、長く運営していけるようにと考えていただきまして、審議していただければと思います。

そして、広域化の枠組みの中で泉佐野市、田尻町との受益者負担を寄せていきたいと考えています。

まずはこれらを第一段階として考えておりまして、財政状況の立て直しを行った上でカーボンニュートラルのためにバイオマスなんかを取り入れていければと考えております。

あと、導入時期については、しっかり啓発をして、皆さんの理解を得ながら、取り組んで参りたいなと考えております。

議長

ありがとうございます。

委員

今ずっと話していたのですけれども、10リットル、20リットル、30リットル、45リットルの袋の中で何をメインにするかですよね。

20リットルを中心にするのであればそれだけ少し価格を下げて、それを皆さん使いますので。

中心になるものをどうするかっていう考え方をしたほうがいいかなと思っています。

差額シールなんですけれども、差額シールをしなくても古い袋と入れ替えしてあげて、少しでも、住民の方々がプラスになるようなことをすれば早いこと移行が終わるのではないかと思います。

議長

わかりました。

差額シールの運用についてはちょっと検討が必要なのかもしれませんね。

今皆様のご意見をお伺いすれば、時期は別にして値上げに関しては致し方ないのかなという点があるかなというふうに感じてはいます。

委員

見えるところに貼るっておっしゃられたけど、ごみ袋はさかさまに向いたり横に向いたりみ出したりしている。

そういうことをやられると、頭にシールが貼っていても下に向けてしまいます。一番くくって見えるところにシールを張っても絶対運用は無理だと思います。

シールは住民の方々にぐちぐち言われるから嫌です。

議長

他何か意見ありますでしょうか。

事務局

差額シールの件、色々ご意見いただいたので参考にさせていただこうと思うのですが、途中で金額を上げた自治体の情報とか、いろいろ収集していると、差額シールで対応してるところもあれば、色も何も変えずそのままやっているところもあるようです。

新しい袋への交換については、古い袋が返ってくるとなると、在庫がかなりあるんじゃないかという想定があって、今の袋は作成次第、一旦、業者さんに配送も含めて倉庫に保管をお願いしているところです。返ってくるごみ袋が多いとその分保管代も上がります。現行のごみ袋の保管分が一定減ってくるタイミングで新しい袋の導入をしたいですけれども、色々な自治体を見る中でシールが一番良いのかなと考えています。シールを貼る部分が見えにくいこともあるとは思いますが、今私たち事務局の中では貝塚市も実施しているというシール対応を導入できたかなという風に考えております。

貼る場所とかシールの形をどうするのか検討させてもらわないといけないかなと思います。

委員

何月何日から今持ってる袋は使えなくなるので、引き取ってお金と交換しますとって町で対応していただくのが一番切り替えとしては早いのかなという風に思います。

いつまでシールを貼って出せるのかとか、その費用のこととかを考えたら、どちらが経費安くできるのかっていうことも含めて、そこは検討していただきたい。

事務局

せっかくいただいたご意見なので、また改めて検討させていただきます。

ただ実質販売店の方に手数料の徴収も含めてやっていただいていますので、販売店による返金は難しいことから、もし返金を町でするとしたら一斉に住民の方が窓口に来るという想定も、考えないといけない部分もありますので窓口で返金対応をするということは難しいということがあります。

あと、一定期間、新袋でも出せるし差額シールを貼っても出せる期間というのを設けさせていただこうと思っています。

ですので差額シールと新しい袋が同じタイミングで売り出されるので、新しい袋だけで良い方はそれを買っていただき、お家に在庫がある方は、差額シールで一定期間対応していただきたいと思います。

委員

どっちの経費が安いかですね。

事務局

返金に関しては、今まであまり想定していなかったもので、この場ですぐに結論を出すことは難しいです。

委員

役場でしか返金は受け付けませんということにして、返金の期間を長くすれば、そんなに集中することはないかなと。

委員

切り換えの告知を早くして、いつぐらいから使えなくなるというのがわかったら、在庫を持っている方が在庫を出していくと思います。

事務局

もともと差額シールが使える期間というのは想定しようと思ってまして、金額が上がるタイミングと同時にいつまでしかシールは使えないため、現行の袋については、計画的に購入して使いきるような形でお願いしますということの周知をさせていただこうと思っております。混乱のないような形で手数料の見直しを導入させてもらえたらと思いますので、返金については難しいところもあるというところは、認識いただきたいです。

委員

この金額で、オレンジの分は最後までいったらいいのかと思います。
私の意見として値上げは極力しないで欲しいという意見も尊重していただきたいと思います。

議長

はい。ありがとうございます。

委員

岸和田市と貝塚市は岸和田貝塚クリーンセンターでゴミ処理を一括でやっていると思うのですがけれども、この手数料の違いということに何か不具合はないのでしょうか。

事務局

直接議論についてお聞きしたことはないのですがけれども、おそらく広域化するにあたって、負担金という形でお支払いされていると思います。

実際その処理にかかっている費用についてはそれぞれで負担すべきものを税金で払っているのではないかと思います。

委員

貝塚市としては、住民負担を抑え、手数料、表向きの住民負担は上げずに、裏で負担金という形でということですね。熊取町もそういうアプローチをとるかどうかということですね。

手数料を上げないという意味決定もありで、その代わり裏では減量化が進まなければ、高いお金を払うと、それを是とするか否か。

議長

ありがとうございます。

他に意見ございますか。

今現状で手数料の値上げはNGの方もいらっしゃるしまして、そこが決まらない限りおそらく答申として出せないですよ。どうですか。

委員

今日中に答申をあげないといけないのでしょうか。

議長

事務局からはできれば今日中にということですがけれども。間に合わなければ第2回でも。

委員

環境負荷・環境問題というのは、環境負荷を出した人間が、出した組織がそれ相応の責任を負うというのが、基本的な原則です。

ですので排出者の責任であったり、生産者の責任であったりということになります。

行政で言うのごみ処理というサービスを受けている住民の方がその受益分に応じて負担を負うというのが基本原則だと個人的には思います。

ごみ削減に一生懸命努力した方が一方ではいて、一方では努力しない方もいるわけで、その努力にも関わらず、結果自治体の負担でごみ処理費用を担うということは、努力してる人にとってはあまりうまみがないですよ。

ごみ削減に協力した人が得をするようなシステムとかそのような制度設計をしていかないと、ごみ問題も含め、環境問題は良い方向には向かわない。

きちんと自治体の水準となる負担を設けて、その中でごみ削減を頑張った人が、得をする。

よく言うグズとバズじゃないですけども、環境に良いことをした人は得をして、悪いことをした人は、損をするような仕組み作りというのが良いのかなと思います。

事務局

利用者負担は非常に大事なところでありまして、この負担の平準化をして行く上でも、ごみの手数料を適正化していくという原理原則が根本にありますので、その辺をお汲み取りいただきたいなと思います。

絶対ではないですけどもスケジュールのことを考えたら、今日一定の方向性をいただければという願いがありますので、もし意見等出尽くしたのであれば多数決を取っていただければと思います。

よろしくお願いします。

議長

ご意見も含めて手数料の値上げは致し方ない。

その代わりに、環境課としてはきちんと丁寧に住民の方に説明していただいて、なおかつ導入の時期についても見直していただいて、差額シールの運用というもの、うまくいくように見直していただくという方向で答申作成に進もうと思っているんですけども、今の方向で良いという方、挙手いただけますでしょ

うか。

委員

(賛成者の挙手 多数)

議長

はい。ありがとうございます。

事務局

ミニサイズの導入を一度多数決を取っていただきたい。

議長

ミニサイズの作成については皆さん、反対意見というのは無かったと思いませんけれども、いかがでしょうか。

委員

10、20、30、45リットルという風に作るのと、例えば10リットルだけを増やしたのと、それもコスト的なものは何か変わるのでしょうか。

新しく10リットルと30リットルの2つを導入する必要があるのかと思ったのです。

事務局

事務局で検討したのは、45リットルを普段使っている方が、一気に20リットルまで減らすというのは少し厳しいという意見もあり、30リットルを追加としています。

泉佐野市は50リットルがあるのですが、ごみの減量化を呼びかける以上、大きいサイズよりも、現行のままの45リットルが良いということになりました。

委員

値段が上がって45リットルから20リットルにするのが厳しいのであれば、減らし方のアイデアを提案してあげたら良い話で、30リットルを作る必要は無いのかなと思います。

事務局

1週間に1回というところはミニサイズのところにもあったと思うのですが、夏場に貯めておくことが厳しいという意見がありました。

もう1つ、資料の方にもあるのですが、岸和田市と泉佐野市は、途中で30リットルを増やしています。

ということは30リットルのニーズもある程度多くあるのではないかとということもありまして。

委員

今までないのを2つも導入するとなると混乱するのかなと思ひまして。

委員

他は知りませんが、熊取町でも 30 リットルは望まれているのでしょうか。10 リットルは望む声がずっと出ていて、議会にも上がっていますよね。今 20 リットルと 45 リットルの間の 30 リットルもあつたらいいのにという声は届いてますでしょうか。

委員

ごみ処理広域化で令和 14 年になった時に、田尻町・泉佐野市とサイズを合わすか合わさないかによって変わりますよね。

事務局

今広域化を検討する中では、今のところ特にサイズが一律同じでないといけないとは聞いていません。

事務局

30 リットルのニーズというのは全く耳に届いていないということはないです。この 30 リットルも含め、数については、この先、製作の量をもう一度見諮らわなければいけないし、しっかりと動向を見ていく必要があるのかと。この時点では、30 リットルを考えて行きたいと思っています。

委員

週 2 回可燃ごみをゴミステーションに持って行くのですけれども、もう少し小さくても入るのではないかと思う時があります。

45 リットルで出してあるが、詰め込んだら 30 リットルでもいけるのではないかと。そういう努力が減量化であつたりに繋がる。

最終的にお金にも、関ってくるので。事務局は 4 種類のごみ袋でいこうと考えておられますので、そのまま 4 種類で審議会としては答申の中に入れていただいたらどうかという風に考えます。

議長

コストがかからないのであれば、ラインアップしても良いと。需要が少なければ将来的になくしていけばいいかもしれないですし、必要という方がいらっしゃるのであれば続けなければいいですし。ということで現状 10 リットルと 30 リットルをプラスして設定させていただいて、将来的な負担の見直しを含めて考えていこうということでご理解いただけますか。

一同

はい。

休憩後再開

議長

皆さんお手元に答申案は届いたと思います。

会議を再開いたします。
答申案についてですが、事務局からお願いします。

事務局

事務局の読み上げ
(答申案)の読み上げ部分 省略

議長

はい。ありがとうございました。
ということで導入時期についてとか、差額シールの運用については具体的には今後検討していくという方向で答申案を作成いただきます。
ご意見、ご質問はございますでしょうか。

委員

上から4段目のところなのですけれども、これらのことから、ごみ処理手数料については、将来的にという文言を入れていただけませんかでしょうか。

事務局

答申はあくまでも諮問に対する答申ですので、今回は価格の設定とか住民ニーズのサイズの追加ということでの諮問ということなので。
将来的にはでなく、近々で導入したいと思っておりますので、時期についてはまた運用の中で決めていくということですので、答申には記載なしでいかせて頂けたらと思っております。

議長

時期が書いていないということで、明日にも始められると困るという話だと思っております。
住民の方々にご理解していただいたうえで手数料を上げてやっていこうという方向を示していただけたらというのが委員のお気持ちだと思っておりますけれども。

事務局

早い段階で周知をさせてもらって、段階をおって啓発を十分させていただくというところで、事務局もそのとおりと思っております。

議長

答申の中では改めてそういう文言は入れないけれども、急いでもやりませんという気持ちということでよろしいでしょうか。

事務局

このタイミングで審議会を開催させていただいたというのは、しっかりと周知はもちろんやるのですけれども、先ほどから申しあげました受益者負担であったりとか、財政の硬直化が進んでいる中では、かなり先の将来を、このタイミングの審議会で、審議したということは少し違うという風には思っています。ですのできちんと準備をし、皆さんへの周知はしっかりとやっていく中で事務

局としたら速やかに導入していければと思っておりますので、時期について「将来」というのは、いつの将来なのかというように誤解を招くような表現は差し控えたいと思っております。

議長

いかがでしょうか。

委員

仕方ないですね。

議長

ありがとうございます。

その他ご意見ございますでしょうか。

なければ、今お伺いした内容で答申案とさせていただくことにご異議はございませんか。

事務局から何かございますか。

事務局

本日この案を作らせていただきましたので、後日、町長への提出の方は、別途会長にこちらまで来ていただきまして町長にお渡しさせていただくという形をとらせていただけたらと思っておりますのでよろしくお願いします。

議長

ありがとうございます。

そうしましたら引き続きまして次第では、案件4、その他とあるんですけれども、何か皆様からご意見ございますか。

なければ案件4、その他を終了させていただきます。

この答申をもって当審議会は終わりですよろしいですか。

皆さんお忙しい中ありがとうございます。

さて、本日の審議を経て答申書を取りまとめることができ、当審議会の役目は果たせたかと思っております。

これも一重に委員の皆様のご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

改めまして心よりお礼申し上げます。

事務局におかれましてはこの答申書を最大限尊重していただきながら、ごみ処理手数料の見直し及び町指定可燃ごみ袋のサイズの追加導入について、出来るだけ丁寧に住民の方々にご説明頂いて導入する時期も検討していただいて、完了させていただきたいと考えております。

将来、安定したごみ処理につなげていっていただきたいと期待しております。最後になりましたけれども委員の皆様はじめここにお集まりの皆様の今後ますますのご活躍を祈念申し上げます閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(拍手)

<p>8. 審議会の情報</p>	<p>名称 根拠法令等</p> <p>設置期間 所掌事務</p> <p>委員数</p>	<p>熊取町廃棄物減量等推進審議会 廃棄物の減量化及び適正処理条例 廃棄物減量等推進審議会規則</p> <p>令和7年7月7日から 本町における廃棄物の減量及び適正な処理その他町長が必要と認める事項に関すること。</p> <p>13名</p>
<p>9. 担当課</p>	<p>環境課</p>	